

事務事業名		水産業共同利用施設復興整備事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目 会計 款 項 目 事業 01 06 03 02 25	
	施策名	19 地域活力を担う水産業の振興					
	基本事業名	05 水産物の流通加工体制の強化					
根拠法令		東日本大震災復興交付金制度要綱ほか		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓ 24 年度～ 26 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入			
所 属	部課名	農林水産部 水産課					
	係 名	漁政係	電話 27-3111 内線 372				

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		全体計画(※期間限定複数年度のみ)																			
本事業は、東日本大震災復興交付金を活用し、民間団体が実施する市内水産流通加工業の復興に向けた施設整備等の支援を行うものである。本交付金交付要綱では、市町村が策定する復興計画等に基づいて水産加工流通施設の整備を行うこととされており、当市では「大船渡市復興計画」のほか、「大船渡市水産流通加工業復興方針」を策定し、これに基づき施設整備等の支援を実施するものであり、事業実施主体は公募により決定するものである。		<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5,698,750</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>2,541,250</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>8,240,000</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>正規職員従事人数 3 延べ業務時間 4,320 人件費計(B) 17,280</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>8,257,280</td> </tr> </table>		総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他	5,698,750	一般財源	2,541,250	事業費計(A)	8,240,000	人件費	正規職員従事人数 3 延べ業務時間 4,320 人件費計(B) 17,280	トータルコスト(A)+(B)	8,257,280
総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金																			
		都道府県支出金																			
		地方債																			
		その他	5,698,750																		
		一般財源	2,541,250																		
	事業費計(A)	8,240,000																			
	人件費	正規職員従事人数 3 延べ業務時間 4,320 人件費計(B) 17,280																			
トータルコスト(A)+(B)	8,257,280																				

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)													
① 手段(主な活動)		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア</td> <td>施設整備支援の応募事業件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>設備導入等支援の応募事業件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		名称		単位	ア	施設整備支援の応募事業件数	件	イ	設備導入等支援の応募事業件数	件	ウ		
名称		単位													
ア	施設整備支援の応募事業件数	件													
イ	設備導入等支援の応募事業件数	件													
ウ															
前年度実績(前年度に行った主な活動)															
平成24年度の事業実施主体を公募し、選定を行った。															
今年度計画(今年度に計画している主な活動)															
平成25年度の事業実施主体を公募し、選定を行う。															
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)													
応募のあった水産流通加工業を営む者		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ</td> <td>施設整備支援の応募事業者数</td> <td>社</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td>設備導入等支援の応募事業者数</td> <td>社</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		名称		単位	カ	施設整備支援の応募事業者数	社	キ	設備導入等支援の応募事業者数	社	ク		
名称		単位													
カ	施設整備支援の応募事業者数	社													
キ	設備導入等支援の応募事業者数	社													
ク															
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)													
水産流通加工業の復旧・復興		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ</td> <td>施設整備支援の採択事業数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td>設備導入等支援の採択事業数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		名称		単位	サ	施設整備支援の採択事業数	件	シ	設備導入等支援の採択事業数	件	ス		
名称		単位													
サ	施設整備支援の採択事業数	件													
シ	設備導入等支援の採択事業数	件													
ス															
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)															
市内水産流通加工業の復旧・復興を目指す															

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	年度					
			23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円		77,280	5,552,720	68,750		
	一般財源	千円		21,590	1,508,410	18,750		
	事業費計(A)	千円	0	98,870	7,061,130	87,500	0	
	正規職員従事人数	人		3	3	3		
	延べ業務時間	時間		1,440	1,440	1,440		
	人件費計(B)	千円	0	5,760	5,760	5,760	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	104,630	7,066,890	93,260	0	
⑤ 活動指標	ア	件		38	20	5		
	イ	件		18	10	0		
	ウ							
⑥ 対象指標	カ	社		24	20	5		
	キ	社		18	10	0		
	ク							
⑦ 成果指標	サ	件		30	18	1		
	シ	件		17	10	0		
	ス							

事務事業ID	1551	事務事業名	水産業共同利用施設復興整備事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成23年3月11日に発生した東日本大震災により被災した水産流通加工業の復旧・復興のため、復興交付金により制度化されたものである。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	東日本大震災で被災したことにより、市内水産加工業者の多くが被災しており、多くは大船渡魚市場の買受人となっていることから、早期に復旧復興を行わなければ水揚げ量の確保が困難となるほか、雇用場所の確保の問題、販売取引先が他産地産へ切り替えるなど多くの問題が発生している。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	応募した事業内容についてそのままの内容で採択して欲しい旨の要望がある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 東日本大震災からの復興を目指した事業であり、結びついている。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 民間事業者への補助事業ではあるが、雇用の場の確保、市内水産加工業及び関連産業の復旧復興に資するものであり、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 復興交付金交付要綱に定められた事業であり、対象の見直し余地はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 大船渡市水産流通加工業復興方針等に基づき審査委員会において協議し、事業者を決定していることから、応募のあった事業内容のうち、最大の事業効果が生まれているものと考えられる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事業を中止することにより市内水産流通加工業及び関連産業の復旧・復興に支障を及ぼすものである。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 水産流通加工業に限定した民間事業者への補助事業制度は他になく、統廃合等は不可能である。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 平成24年度は予算額に対してほぼ倍額の応募があるなど、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 平成24年度において申請書等の審査、資料の作成業務をコンサルタントに委託するなど削減努力は行っているが、事業者の決定において迅速な検討を行う事により人件費の削減は可能と考えられる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 復興交付金交付要綱に定められた事業であり、見直し余地はない。

事務事業ID	1551	事務事業名	水産業共同利用施設復興整備事業
--------	------	-------	-----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																										
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>予定事業費を大幅に超える申請があったため、公募から事業者決定までの審査期間を多く要した。</p>																										
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																											
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																											
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																											
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																										
(上記方向性に対する具体的な内容) 公募から事業者決定までの検討時間を短縮することにより効率性を改善することが課題であり、審査方法等の検討を事前に進めておくべきと考えられる。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下	維持		×	×	低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		●	×																								
低下	維持		×	×																								
	低下																											
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																												
平成25年度においても予算額に対して申請額が上回ることが想定されることから平成24年度の審査・決定方法を参考にしつつ、事前の検討をすすめておくべきと考えられる。																												

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	水産課	
-------	-----	--

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																												
① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている																												
② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																												
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																										
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>震災で被災した民間事業者の施設整備を支援するものであり、継続すべき事業である。</p>																										
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																											
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																											
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																											
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)		左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																										
(上記方向性に対する具体的な内容) 現状を維持するが、事業者決定までの時間を短縮できるようにする。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下	維持		×	×	低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		●	×																								
低下	維持		×	×																								
	低下																											

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
